

平成 20 年 4 月 1 日

記者クラブ御中

財団法人 長瀬科学技術振興財団 平成 20 年度の助成決定について

大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
財団法人 長瀬科学技術振興財団
理 事 長 長 瀬 英 男

当長瀬科学技術振興財団の平成 20 年度の助成 15 件を、選考委員会及び理事会において下記のとおり審査、決定いたしましたのでご通知いたします。

当長瀬科学技術振興財団は、生化学及び有機化学等の分野における、科学技術の発展を願って平成元年 4 月に設立許可されましたもので、今回が 20 回目の助成であります。

記

1. 助成金贈呈式

日 時	平成 20 年 4 月 25 日（金） 午後 5 時より
場 所	大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 大ホール

2. 助成金受賞者一覧表 添付別紙（No. 1）をご参照下さい

3. 助 成 金 額 37,500,000 円（研究助成 15 件合計）

4. 当財団の概要 添付別紙（No. 2）をご参照下さい

以 上

お問い合わせ : 大阪市西区新町一丁目 1 番 17 号
長瀬産業株式会社内
財団法人 長瀬科学技術振興財団
TEL 06-6535-2117

平成20年度助成金受賞者一覧表

(五十音順)

氏名	現職	研究テーマ
<生化学>		
東 雅之	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	エネルギー化合物に依存しない蛋白質の脂質修飾機構の解析
一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科 教授	浸透圧ストレスの受容認識機構と生理的意義の解明
宇山 浩	大阪大学大学院工学研究科 教授	バイオディーゼル製造用の高性能固定化酵素の開発
片岡 道彦	京都大学大学院農学研究科 准教授	「バイオ還元システム」を技術基盤とする有用物質生産プロセスの開発
橋本 義輝	筑波大学大学院生命環境科学研究科 講師	ニトリルヒドラターゼ成熟化機構の解明
藤原 俊伸	神戸大学大学院工学研究科 准教授	セレノシステイン挿入機構を利用した人工蛋白質創製の試み
<有機化学>		
占部 弘和	東京工業大学大学院生命理工学研究科 教授	アミノ基を新規な脱離基とするバイオ分子変換法の開発
菅 敏幸	静岡県立大学薬学部 教授	生体機能解明を指向した生理活性天然物の合成
佐治木弘尚	岐阜薬科大学薬学部 教授	不均一系触媒による芳香核水添法の開発と機能性材料合成法としての展開
鳶巢 守	大阪大学大学院工学研究科 特任講師	触媒的不活性結合切断反応の開発
山子 茂	京都大学化学研究所 教授	高周期 15 族ヘテロ元素化合物のメタル化反応の開発とその応用
<生化学・有機化学>		
有本 博一	東北大学大学院生命科学系研究科 教授	内因性ニトロ化合物による生体防御機構の解明
金原 数	東京大学大学院工学系研究科 准教授	生体分子の会合を制御する分子ツールの開発
柴田 哲男	名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授	がん細胞に集積するテフロンコートフタロシアニンの設計・合成と光線力学的治療
南川 典昭	北海道大学大学院薬学研究院 准教授	持続性 RNA 干渉能を示すヌクレアーゼ抵抗性人工 DNA デバイスによる核酸創薬基盤研究

財 団 概 要

1. 名 称

財団法人 長瀬科学技術振興財団

(英文名：Nagase Science and Technology Foundation)

2. 所在地

大阪市西区新町一丁目1番17号

3. 理事長

長 瀬 英 男

4. 設立許可

平成元年4月26日

5. 基本財産

現 金 4億円

投資有価証券 約13億1千8百万円(平成20年3月末現在)

6. 目 的

この法人は、生化学及び有機化学等の分野における研究開発及び国際交流に対し助成等を行うことにより、科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。

7. 事業の概要

- (1) 生化学及び有機化学等の分野における研究に対する助成
- (2) 生化学及び有機化学等の分野における国際交流に対する助成
- (3) 生化学及び有機化学等の分野における研究成果の普及
- (4) その他本財団の目的を達成するために必要な事業

8. 主務官庁

文部科学省

(特定公益増進法人認可)

※ ホームページアドレス <http://www.nagase-f.or.jp/>